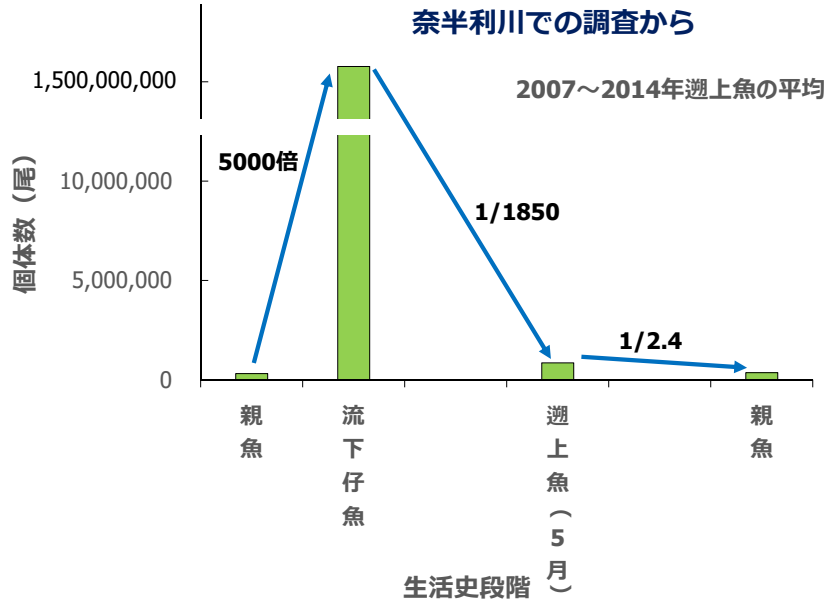
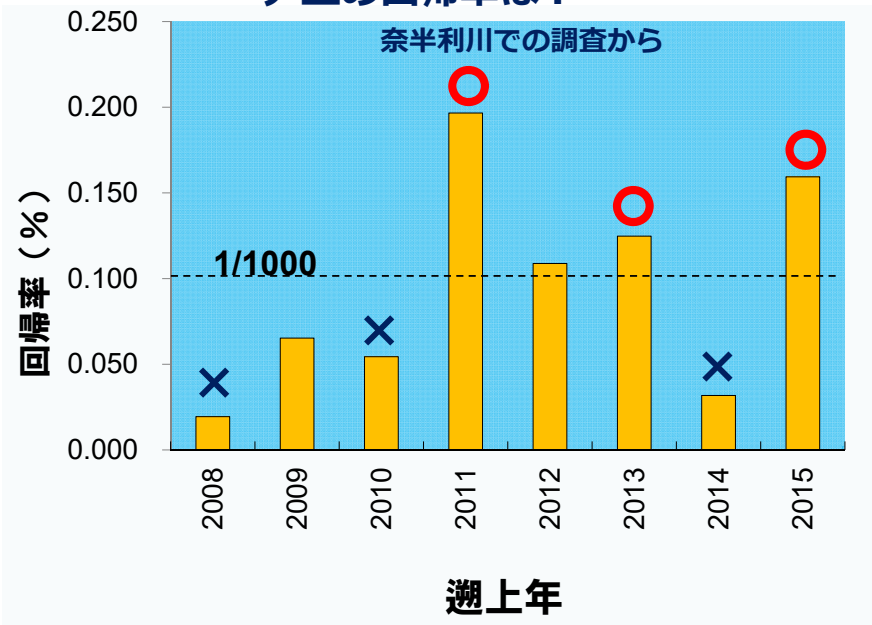
アユの生活史のなかでの個体数の変化



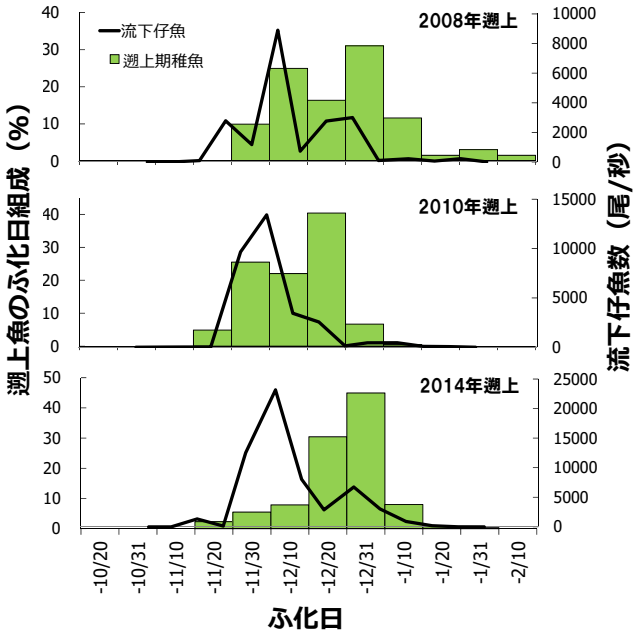
流下（ふ化）～遡上の段階でほとんど決まる

アユの回帰率は？



回帰率：遡上量÷流下（ふ化）量

回帰率の悪い年（2008,2010,2014年遡上）

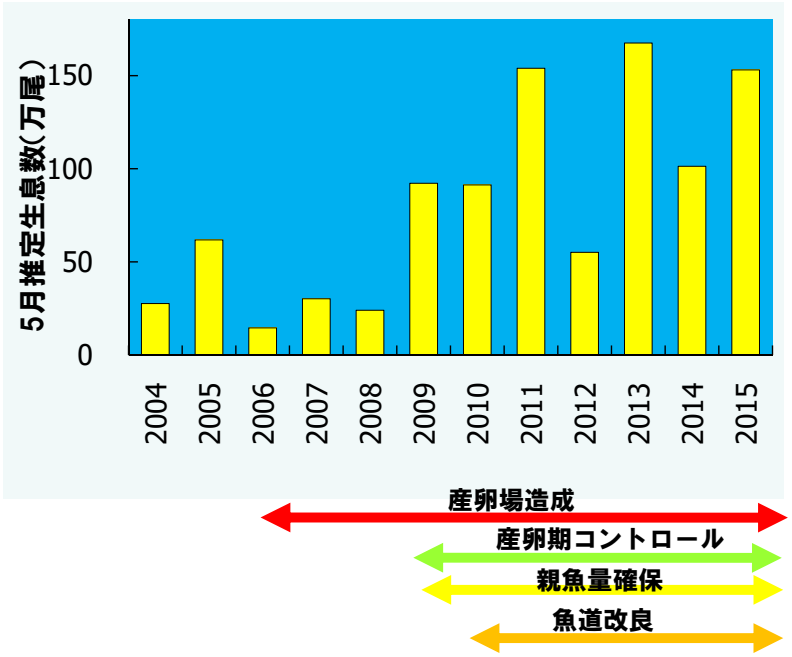


ふ化のピークよりも遡上魚のふ化日のピークが遅い

↓

数の多い早生まれが選択的に死亡

↓

遡上量が少なく、小型になる

対策を重ねることで遡上数も次第に増加し始めた